

東京支部だより

支部長 永野 信

第三七回東京支部展開催

東京支部展は恒例の文京シビックセンターで六月四日(月)〜九日(土)の六日間開催しました。出展者は会員一三名、一般六名、出展作品は四一点とほぼ例年並みでした。日本画では児玉八千穂、三木トク子、森石啓之助の七点と皮工芸作品の富岡ネム、山崎昌子の四点と多彩でした。菅野正人の「リーマン予想の証明」は数学との学際的アートとして幾人の方が長時間にわたり説明を受けていました。

会場が区役所と同ホールに隣接していることから毎日一〇〇人を超える多勢で、会期中森屋代表、鈴木事務局長他大勢の本部役員の皆様のご来場を頂きありがとうございました。

また、今回は五、六月に日展会館で開催した本部主催のクロッキー・デッサン会にご指導された張京浩、山下利隆の作品も展示していただき来場者の注目を受けました。

本部の主催する研修会や写生会に支部一般者を参加させることが本部のみならず支部会員の若返りにつながり、会本来の目的とする活動であると痛感した次第です。(敬称略)

千葉支部だより

支部長 小宮山 修

平成三〇年七月二十七日(金)〜三十一日(火)にかけて第二一回千葉支部展をあびこ市民プラザギャラリーで開催致しました。出品者一九名作品絵画三九点、工芸六点合計四五点です。入場者総勢五〇二名を数え沢山の収穫を得て盛会に終えることが出来ました。

台風一二号の影響で懇親会が中止となりましたが連日厳しい暑さにも関わらず遠方よりご来場ありがとうございました。皆様からのアドバイスは会員一同心より感謝している次第です。これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

支部展を終え休む暇なく、続けて本番の第四二回新日美展が始まりました。九月二十七日(木)〜十月五日(金)開催された本展の支部員情報も掲載させていただきます。

当会の六大大賞に水野美預子(東京都知事賞)「夏のかおり」が受賞しました。鈴木幸男がマツダ賞「九十九里浜」、安部清明「空間と絵筆」、片桐金治郎「手賀沼夕映え」、塩田宏治「木漏れ日」、田中光子「星降る月夜に」が賞候補でした。

初入選者では、杉田保巳(船橋市)が奨励賞「眺望〜都庁より」、片岡美智子(工芸、我孫子市)が佳作賞

「芸子」、磯田泰子(佐倉市)、小林英子(佐倉市)、新垣明(柏市)、熊尾清隆(柏市)、加納明(鎌ヶ谷市)、田代和子(取手市)と続きました。

尚、白井市在住の宮澤栄子特選「染まる北穂高」(神奈川県在住)は「遠藤年英(北茨城市在住)は奨励賞「小宇宙(小さな幸福)」、茨城県には支部がないため一部の方は千葉支部で活動しています。

皆様おめでとございました。支部員はじめ各人の努力が結んだ素晴らしい結果となりました。これからも日々研磨を重ね前進させますことを願っています。支部活動も盛り上げていきたいと思えます。(敬称略)



平成30年7月 千葉支部展 盛大に開催される

編集後記

晩秋の屋下がりの草原で、命を惜むかのようにルルルルルルルルルルと低い美しい声で「秋に鳴く虫の女王 邯鄲」が鳴いていました。鳴いているのは、実はみなんですが…。何とポエム。

小高編集委員、8年間の長きに亘る会報の担当、ご苦労様でした。重責を担って船出をします新米の二人、篠と石原をよろしく願います。文責 石原

新日美主催 クロッキー・デッサン会開催

事業部委員 増野 喬

【第一報】

平成三〇年五月二十二日(火)と六月二二日(金)の二回、日展会館にて実施致しました。クロッキー・デッサン会は新日美の事業として初めての開催です。参加費は一人千円としました。会員同士の交流と技量の向上を目的にしたものです。

第一回目の五月二十二日の参加者は一三名、六月二二日は一六名で、栃木や千葉からの参加者もあり、まずまずの参加者数でした。

張委員、石原委員、増野のデッサン、クロッキー作品を参考作品として展示し、又、資料としてムサビの「絵画基礎」、「学習指導書」の中から抜粋して提供しました。

【第二報】は一六五号に掲載